

2020年1月18日

## 2020 東京五輪日本代表選考方法(女子体操競技)

公益財団法人日本体操協会  
東京オリンピック強化委員会  
女子体操競技強化本部

### <チーム枠4名の選出>※W杯種目別宣言者を除く

① W杯個人総合で国枠を獲得した場合、最も高い個人総合得点を獲得した選手1名をチーム枠代表に決定する。W杯個人総合で国枠を獲得しなかった場合、チーム枠選手はこの段階で選考しないものとする。

※W杯個人総合で国枠を獲得し、その個人総合得点と同点の場合、全日本個人総合決勝の個人総合得点上位者をチーム枠代表に決定する。

※W杯個人総合でチーム枠代表に決定した選手は、その後に行われる全日本個人総合、NHK杯、全日本種目別の出場の有無にかかわらず、チーム枠代表の権利を得たものとする。

※W杯個人総合に出場した選手は、出場した一つのW杯個人総合の大会で獲得した全種目の得点を、全日本個人総合(予選)のすべての種目の得点に差し替えることができる。差し替えの申し出は全日本個人総合(予選)終了直後、女子強化本部長に文書で申告するものとする。(一度差し替えた得点は変更できない。)差し替えた得点は全日本個人総合(予選)で得た得点とみなし、個人総合決勝と種目別予選への進出、決勝の演技順、代表選考に関わる得点となる。

② W杯個人総合で国枠を獲得した場合、チーム枠代表に決定した選手を除き全日本個人総合(予選・決勝)+NHK杯時の個人総合合計得点から上位2名をチーム枠代表に決定する。W杯個人総合で国枠を獲得しなかった場合、全日本個人総合(予選・決勝)+NHK杯時の個人総合合計得点から上位3名をチーム枠代表に決定する。

#### <同点時のタイブレーク>

1. NHK杯時の個人総合得点の最上位者を上位とする。
2. 更に同点の場合は、FIGタイブレークに準ずる(NHK杯時の種目最低点を除く3種目の合計得点が高い選手を上位とする)

③ ①と②で選出された3選手との組み合わせで、最もチームに貢献する得点となる選手1名をチーム枠代表に決定する。

※W杯個人総合で国枠を獲得した場合、①の選手を除き、全日本個人総合(予選・決勝)+NHK杯時の合計得点が上位7名(日本代表選考の年齢等による資格を満たさない選手を除く)に入っている選手の中から選考する。W杯個人総合で国枠を獲得しなかった場合、全日本個

人総合(予選・決勝)+NHK 杯時の合計得点が上位 8 名(日本代表選考の年齢等による資格を満たさない選手を除く)に入っている選手の中から選考する。

※チームに貢献する選手選考のためのチーム得点算出は、①と②で選出された 3 選手の得点との組み合わせにおいて、最もチーム得点(ベスト 3)が高くなる選手(ただし、2 種目以上でチーム得点に貢献)1 名をチーム枠代表に決定する。

※跳馬は 1 本目の跳躍の得点のみを対象とする。

■①と②で選出された 3 選手と組み合わせる選手の得点は以下を採用する。

全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯、全日本種目別(予選・決勝)の国内の予選 5 試合において、各種目の高いスコア 2 試合の平均得点を採用するものとする。1 大会のみの出場選手は選考対象から除外する。

■①と②で選出された 3 選手の得点は、以下を採用する。

1)①の選手がいる場合の①の得点は、W 杯個人総合、全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯で、各種目、最も高い得点を採用するものとする。

2)②で選出された選手の得点は、全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯のうち、各種目、最も高い得点を採用するものとする。

※2019 年 6 月 24 日から 2020 年 6 月 23 日までに開催された東京五輪に関わる予選競技会<sup>注)</sup>の成績をみて、チーム貢献度を考慮し、女子強化本部長がチーム枠代表 1 名を推薦する場合がある。その対象者には W 杯種目別宣言者を含む。なお、その該当者がいない場合は②の次点者とする。同点の場合は、②で示したタイブレークルールを適用する。

注) 2019 全日本ジュニア体操競技選手権大会/第 73 回全日本学生体操競技選手権大会/第 52 回全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会/第 49 回世界体操競技選手権大会/W 杯種目別第 44 回コトブス国際/2020WC シリーズ(種目別)トライアウト/第 74 回全日本体操個人総合選手権大会トライアウト/2020W 杯種目別メルボルン大会/2020W 杯種目別バクー大会/2020W 杯種目別ドーハ大会/2020W 杯個人総合アメリカ大会/2020W 杯個人総合ドイツ大会/2020W 杯個人総合イギリス大会/2020W 杯個人総合東京大会/第 74 回全日本体操個人総合選手権大会/2020 アジア体操競技選手権大会/第 59 回NHK杯体操/第 74 回全日本体操種目別選手権大会

④補欠の選出(現時点では補欠定義が未確定であることから IOC に確認中。返答後に変更の可能性あり):②③の代表決定選手を除く②の次点者 2 名を国内補欠とする。

### <個人枠選手の選出>※W 杯種目別宣言者を含む

⑤ W 杯種目別で個人枠を獲得した場合、当該選手を個人枠代表に決定する。

⑥ W 杯個人総合、アジア選手権において国枠を獲得した場合、全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯、全日本種目別(予選・決勝)、アジア選手権(各種目で獲得した最高得点のみ)の 6 試合の中、各種目で最も高い 2 試合の平均得点において、以下の基準を満たした選手を、獲得し

た枠の分、東京五輪個人枠代表に決定する。

＜個人枠代表対象選手選考基準＞

個人枠代表となる対象選手を選考する基準は各種目、下記の 2019 年世界選手権種目別決勝 4 位以上の得点を獲得した選手とする。

跳馬(14.733)段違い平行棒(14.733)平均台(14.000)ゆか(13.966)

※跳馬は 2 本の跳躍の平均で、さらに上位 2 試合の得点の平均とする。

※全日本個人総合(予選)で 24 位以内に入らなかった選手が、上記の種目別決勝 4 位の得点を超えた場合、その種目のみを全日本個人総合(決勝)、NHK 杯にて行うことができる。ただし、各種目 4 名を上限とする。

※個人枠代表となる対象選手数が獲得した個人枠を満たした場合、当該選手を東京五輪個人枠代表に決定する。

※個人枠代表となる対象選手数が獲得した個人枠を上回った場合、下記のタイブレークルールに従って、東京五輪個人枠代表を選考する。

＜個人枠代表タイブレークルール＞

- 1.各種目に設定された基準点(2019 世界選手権種目別決勝 3 位の得点)を最も上回る得点を獲得した選手を個人枠代表に決定する。ただし、基準点を上回る選手がいない場合、基準点に最も近い選手を個人枠代表に決定する。複数種目の合計はしない。

基準点→跳馬(14.816)段違い平行棒(14.800)平均台(14.300)ゆか(14.066)

- 2.同点の場合は、全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯で獲得した個人総合最高得点の高い選手を上位とする。

※該当者がいない場合は、団体枠代表決定後、②の次点者とする。

＜アジア選手権日本代表の選出＞※上記⑥に関連して

全日本個人総合(予選+決勝)上位 5 名(補欠 1 名・2019 世界選手権出場選手を除く)とする。

※原則として、国枠獲得のため上位 4 名で個人総合を行う。

※アジア選手権の得点は、各種目で獲得した最高得点のみを⑥の個人枠選考の対象とする。

当該大会と代表選考の成績の扱い

※全日本個人総合、NHK 杯、全日本種目別の順位に関しては、日本代表選考の年齢等による資格を満たさない選手を含めて処理するものとする。

※東京五輪代表選考に関わる条件に関しては、日本代表選考の年齢等による資格を満たさない選手を除いて処理するものとする。

以上